

# 男性の仕事満足度と男女間賃金格差との関連

三田周之介

2025/01/12

## Table of contents

1	問い	1
2	データの概要、取得と前処理の方法	1
2.1	データの概要 . . . . .	2
2.2	データの取得方法 . . . . .	2
2.3	データの前処理の方法 . . . . .	2
3	データ変数と視覚変数の対応関係	2
4	可視化作品	3
5	考察	3
	参考文献	3

## 1 問い

- 男女間の賃金格差と男性の仕事満足度は関連しているか？
  - 自分のやりたい仕事よりも稼いでくることが優先される？
  - OR 次の仕事が見つからないリスクから転職ができない？
  - OR 家計における稼ぎ手としてのプレッシャー？
- 今回はあくまで関連の検証であり、因果関係の検証ではない
  - 関連の有無から因果関係を指摘することはできない

## 2 データの概要、取得と前処理の方法

- Group (2017)
  - 調査対象国

- 性別
- 仕事満足度（あなたは、今の仕事にどのくらい満足していますか。）
- 同居するパートナーの有無（あなたには現在、配偶者（またはパートナー）がいますか。また、いる方は、その相手と一緒に生活していますか。）
- Gender wage gap (OECD 2024)：OECD 加盟国における男女の賃金格差
  - 集計年
  - 集計した国
  - 賃金分布において、賃金の中央値を計算する範囲
  - 賃金の中央値の男女差が男性の賃金の中央値に占める割合（％）

## 2.1 データの概要

## 2.2 データの取得方法

- Group (2017)
- 以下の URL から手動で端末に CSV ファイルをダウンロードした
  - <https://doi.org/10.4232/1.12848>
- Gender wage gap (OECD 2024)
  - CSV ファイルをダウンロードする以下のリンクから io ライブラリおよび requests ライブラリを用いてダウンロードした。
    - \* [https://sdmx.oecd.org/public/rest/data/OECD.ELS.SAE,DSD\\_EARNINGS@GENDER\\_WAGE\\_GAP,1.0/all?dimensionAtObservation=AllDimensions&format=csvfilewith-labels](https://sdmx.oecd.org/public/rest/data/OECD.ELS.SAE,DSD_EARNINGS@GENDER_WAGE_GAP,1.0/all?dimensionAtObservation=AllDimensions&format=csvfilewith-labels)

## 2.3 データの前処理の方法

- Group (2017)
  - OECD 加盟国＋台湾の行のみ抽出する。
  - 仕事満足度の変数を、仕事満足度が高くなるほど値が大きくなるように逆転
  - 国ごとの男性の国別平均仕事満足度が対応したデータセットを作成
- OECD のデータセット
  - 集計年が 2014 年の行を抽出
    - \* 2015 年から直近 2 年で最も集計された国が多かったため
- 上記の二つのデータセットを国名を元に横に結合した分析用データセットを作成
  - 21 ヶ国のデータが得られた

## 3 データ変数と視覚変数の対応関係

データセット 散布図 データある国の賃金の中央値の男女差・男性における国別平均仕事満足度：直交座標のある点に位置する色を持った円データ変数 賃金の中央値の男女差：x 軸 男性における国別平均仕事満足度：

y 軸

## 4 可視化作品

こんな感じ

## 5 考察

- 結果：男女間の賃金格差が大きくなるほど、男性の仕事満足度が低くなるというわけではなかった
  - － 性別役割分業は男性にとって精神的な意味で必ずしもデメリットではないのかもしれない
    - \* 仕事にフルコミットできる
- 外れ値としての日本
  - － 性別役割分業がデメリットになるような制度的特徴があるのかもしれない
  - － 満足度を低く答えるような文化的特徴があるのかもしれない

## 参考文献

Group, ISSP Research. 2017. “International Social Survey Programme: Work Orientations IV - ISSP 2015.” GESIS Data Archive, Cologne. ZA6770 Data file Version 2.1.0. <https://doi.org/https://doi.org/10.4232/1.12848>.